

## 広島県

届出事業所からの「水域へのヒトに対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（令和2年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大竹市	483,656	アクロレイン 290,400	アリルアルコール 40,000	ふっ化水素及びその水溶性塩 37,830
2	福山市	74,243	マンガン及びその化合物 30,000	ふっ化水素及びその水溶性塩 25,348	ニッケル化合物 8,500
3	東広島市	52,365	ふっ化水素及びその水溶性塩 44,237	ダイオキシン類 4,767	ほう素化合物 2,075
4	竹原市	44,636	アンチモン及びその化合物 16,500	セレン及びその化合物 14,010	マンガン及びその化合物 8,006
5	広島市南 区	38,089	ニッケル化合物 23,000	ふっ化水素及びその水溶性塩 11,141	ほう素化合物 2,100
6	安芸高田 市	25,274	EPN 9,197	マンガン及びその化合物 2,705	セレン及びその化合物 2,700
7	呉市	13,982	ほう素化合物 7,874	ふっ化水素及びその水溶性塩 3,683	モリブデン及びその化合物 938
8	三次市	12,847	EPN 7,004	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 1,600	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く。) 1,024
9	豊田郡大 崎上島町	6,417	アンチモン及びその化合物 2,500	鉛化合物 1,710	砒素及びその無機化合物 1,700
10	広島市中 区	6,376	ほう素化合物 4,300	ふっ化水素及びその水溶性塩 1,950	亜鉛の水溶性化合物 120